

警察庁によると、スマホや携帯電話などを使いながら自動車を運転する「ながら運転」による2024年の死亡・重傷事故は136件（前年比+14件）で、2007年以降、最多でした。

年齢層別では、20歳代か

ら30歳代が約5割です。自動車のながら運転では、通常の運転に比べ死亡事故率が約3・7倍に跳ね上がります。また、自転車のながら運転で起こした、または巻き込まれた

ながら運転事故状況

死亡・重傷事故は28件（前年比+2件）で、こちらも過去最多でした。年齢層別では、19歳以下が約6割でした。いずれも約9割は画面の閲覧中、残りは通話中の運転でした。

死亡事故は自動車32件、自転車1件でした。

ながら運転で交通の危険を生じさせた場合、1年以下の懲役または30万円以下の罰金になります。ながら運転はやめましょう。



交通安全